

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.3 1

開催地：八代市麦島校区

平成 19 年 9 月 26 日（水）、八代市麦島校区（会場：迎町下一公民館）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。

同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。

なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

市内	18名
市外	1名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【河川整備基本方針の説明について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 八代地区で 1/100 の 9,900m³/s の洪水が来た時にどれくらいの水かさになるのか教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 例えば、八代においては、平成 18 年 7 月洪水における横石地点のピーク流量は約 7,100m³/s（速報値）でした。当時の洪水現象と流量の数値を合わせて考えると、大まかな目安にはなると思います。 なお、現在の河道及び堤防の状況では、9,900m³/s の洪水を安全に流すことはできないものと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> 9,900m³/s の洪水が来たら堤防を越えるのか。水位は何 m になるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の河道及び堤防の状況では、9,900m³/s の洪水を安全に流すことはできないものと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> この地区の資料を持ってきて説明して欲しい。上流の人吉の話聞いても下流には意味が無い。 	<ul style="list-style-type: none"> 人吉地区は、球磨川全体の治水を考える上で、環境を含む自然的及び社会的制約が多く、治水上のコントロールポイントになります。 従って、球磨川の基本方針を理解いただく上で、重要な論点となることから、人吉地区における小委員会での議論内容等を報告会でお示しさせて頂いたところです。ご理解をいただければと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 基本方針では具体のダムや遊水地の話はしないということだったが、なぜ、検討小委員会で、確かめ算に川辺川ダムを用いたのか。川辺川ダムでなくてもよかったのではないか。また、確かめ算であればダムを持ち出してよい根拠を聞きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針は、長期的な河川整備の目標等の基本的な方針について定めたものであり、具体の河川整備の内容等は、今後策定する河川整備計画で定めることとしています。 一方、小委員会においては、計画高水流量の設定にあたり洪水調節の実現可能性の検証が必要との意見があり、既設市房ダムと建設中の川辺川ダムを一つの例として洪水調節の実現可能性を確認していますが、この検証をもって川辺川ダムが基本方針に位置付けられたということではありません。
<ul style="list-style-type: none"> 検討小委員会の場で委員がするべきでない話をしたら、国土交通省は事務局として審議を止めるべきではなかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 小委員会においては、基本高水のピーク流量と河道で流す流量（計画高水流量）との差が大きく、洪水調節の実現可能性の検証が必要との意見があり、審議がなされたものと認識しています。 なお、この検証をもって川辺川ダムが基本方針に位置付けられたということではありません。

<ul style="list-style-type: none"> ・本日の説明会はダムありきなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本方針は、長期的な河川整備の目標等の基本的な方針について定めたものであり、ダムの整備など具体の治水対策については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくことになります。 ・報告会は、基本方針の内容等について地域の方々にご報告するために開催したものです。
<p>【球磨川の治水対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掘削をすると井戸水が出なくなる。以前、前川、球磨川で砂利の掘削をした結果、3m掘れば水が出ていたのが、18m掘らないと水が出なくなる被害にあった。川底が下がったら、住宅地の水位も下がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の掘削による地下水への影響についてはご指摘のとおりと思います。報告会での説明では、人吉地区で河床を掘削した場合、人吉層が露出することによる問題点を中心に話しましたが、地下水への影響のおそれもあると考えられます。
<ul style="list-style-type: none"> ・八代の河川敷は、今と比べると昔の川幅は1/3ぐらいしかない。河川敷ができて、水かさが上がっても被害が少なくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の通り、現在、河川敷公園がある箇所では、過去からの治水対策で川幅を広げる工事を行ってきており、治水安全度はある程度向上しています。しかし、萩原地区の堤防は、脚元が深く掘れているほか、法令で定められた必要な堤防の厚みが確保されていない区間もあることから、治水対策として、これらの課題への対応が必要な状況です。
<ul style="list-style-type: none"> ・萩原橋の根元は、曲がったところは水深が30mほどある。あそここの対応は考えた方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、八代市の萩原地区では、堤防の脚元が深く掘れていることから、そこに大きな石や砂利などを埋める工事を行っているところとあります。できるだけ早期に対策が完了するよう、努めて参りたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・八代は川幅が広くて良いが、山間部は川幅を広げられない。横石の方が人吉よりも（水位が）よく上がる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、球磨川中流部は山間狭窄部となっており、川幅も狭いことから、水位が上がりがやすく浸水被害が頻発している地区もある状況です。 ・これらの地区について、支川管理者である県等とも調整しつつ、できるだけ早期に治水対策を実施できるよう努力していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・人吉の消防署のあたりは今はどうなっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人吉市の治水対策について、概ね堤防は整備されていますが、今後、普段の水面よりも上部の土砂掘削等を行うことで、今回基本方針で定めた計画高水流量(人吉4,000m³/s)を安全に流すことができるようにしていく考えです。
<ul style="list-style-type: none"> ・治水対策は球磨川全般のことを考えないといけない。護岸工事してもらい、住宅地もでき、八代については安全性はできあがった気がするが、川辺川ダムの話も八代だけの問題じゃなく球磨川115kmの水系の安全性が大事。自分達の事だけ考えてはいけません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の通り、球磨川の治水対策については、球磨川全体でどのような方法が最も効率的、効果的であるかを検討した上で具体的な事業を進めていくことが重要であると考えています。なお、ダムについては、今後、河川整備計画を策定する際に検討し、必要であると判断される場合に位置付けていくこととなります。いただいたご意見については、検討の参考にさせていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・私の家内は水上村の出身だが、隣の五木村の人達は本当に可哀想である。川辺川ダムのせいで行ったり来たりも途絶えている。国土交通省はやる気があるのか。知事は何をしているのか。県知事も一肌脱いで、国土交通省は一肌も二肌も脱いで、是非川辺川ダムを完成させて欲しい。そうしないと五木村や水上村に 	<ul style="list-style-type: none"> ・川辺川ダム建設事業については、五木村の方々をはじめ流域の方々にはいろいろとご苦勞やご心配をおかけしており大変申し訳ありません。今後、できる限り早期に河川整備計画を策定したいと考えています。いただいたご意見については、その際の参考にさせていただきます。

<p>幸せは来ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近、台風や大雨の規模が昔とは全然違う。(大きな災害が災害が起きているところは)どこでも80年暮らしてきたがこんなことは初めてということばかり。八代も堤防が出来て安泰だとみんな思っているかもしれないが、洪水時に瀬戸石ダムが持たずに崩れれば八代は全滅である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の通り、想定外の洪水が発生しても被害を最小限に防ぐことができるよう、国土交通省では、例えば、八代市ハザードマップ作成への支援など避難警戒体制の一層の充実に努めて参りたいと考えています。なお、瀬戸石ダムは電源開発が管理する発電専用のダムであり、洪水を調節する機能を有してはいません。(洪水時には、上流から流れてきた水量を、そのまま下流に通過させています。)
<ul style="list-style-type: none"> ・麦島校区は州だから球磨川が恐ろしい。水害の危険性は以前に比べると確かに少なくなっていると思うが、自主防災の観点からお互いに助け合いの精神でやっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災については基本的に各市町村で取りこんでいただくこととなりますが、国土交通省としても洪水による被害を最小限に防ぐことができるよう、例えば、市町村のハザードマップ作成への支援など避難警戒体制の一層の充実に努めて参りたいと考えています。
<p>【球磨川の環境について】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・大橋の下に砂利船が2～3台放置されている。注意しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川区域内に不法投棄された物件の処分については、河川管理者であっても、不法投棄されている私有財産を勝手に処分することができないことをご理解いただければと思います。 なお、所有者が確認された場合は撤去をお願いしておりますが、所有者が確認されない場合は、地元の市役所や警察にも協力をいただいで、撤去を行った事例もあります。 ご指摘の廃船の撤去については、もうしばらくお時間をいただければと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・迎町1～2丁目の川の中にヨシがいっぱい生えているが、水が出たときにゴミが沢山たまる。大雨が降らないと流れていかないがどうにかできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨシはご指摘のような問題がある一方、生物の貴重な生育・生息場となっていることがあります。今後、生物調査等の結果も踏まえつつ、対応について検討していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・堤防に自動車が5台放置されている。何が理由で撤去できないのか。もう何年も置いてある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川区域内に不法投棄された物件の処分については、河川管理者であっても、不法投棄されている私有財産を勝手に処分することができないことをご理解いただければと思います。 なお、所有者が確認された場合は撤去をお願いしておりますが、所有者が確認されない場合は、地元の市役所や警察にも協力をいただいで、撤去を行った事例もあります。 平成19年にも市役所、警察と連携して、ご指摘のような放置車両の一部の除去を行っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・砂利船や車の撤去について、財産権があっても、行政で役目を果たして欲しい。あそこに冷蔵庫が落ちていたりとかは、自分たちの責任で行えるが、機械船の残骸などは地域では対応できないので、行政にお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省としても、不法投棄への対応に努力していきますので、もうしばらくお時間をいただければと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・八代で砂利を取ったが魚もいなくなった。大きい栗石が無くなって小さい石では鮎が育たない。前川で堰が出来て流れが無くなり、小さい魚しかいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省では、今後川づくりを進めるにあたっては、関係機関と連携して産卵場となる瀬の再生等にも取り組むなどアユなどの魚類の生息にも配慮することとしています。
<ul style="list-style-type: none"> ・遙拝堰に魚道を造らせなかったの、下には魚がいなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遙拝堰には魚類が下流から上流に上ることができるよう、魚道が整備されていますが、川の流量が少ない時などにうまく機能

	<p>していない場合があります。今後、関係機関とも連携しつつ、魚道の改良等に努めていきたいと考えています。</p>
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前、坂本に行った時、台風で木が倒れて枯れてしまっていたが、現在の状況が分かれば教えて欲しい。やはり、山肌がツルツルだったら洪水がおきやすいのかどうか知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球磨川流域では、ご指摘のとおり、台風等に伴う豪雨による山腹の崩壊や森林の荒廃等が見受けられます。森林は洪水緩和機能を有していますので、国土交通省としても関係機関と連携して、森林の保全に努めていきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・樋門、樋管の監視人はどのように決まっているのか。適切に操作ができるか疑問な方がやっている場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・樋門、樋管の操作は、地元市町村に委託をして、操作される方を決めていただいているところです。操作される方の研修等も実施し、適切に操作いただけるよう、地元市町村とも連携して取り組んでいるところですが、ご意見も踏まえ、今後も努力してまいりたいと考えています。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。